



安全について再度確認

ここ数年、近隣では大きな事故や事件も無く、比較的安全に生活できています。しかし、そんな気が緩んでいるときこそ、再度『安全』について確認する必要があります。

「吉田有希ちゃん事件」のような悲惨な事件が、二度と起きないようにお子さんの安全についてもう一度考えてみましょう。

▼ 「ちょっとおかしい」を敏感に察知して ▼

- ・ 離れた場所からじっと見ている
- ・ 所在なくウロウロしている
- ・ 何かと話しかけてくる
- ・ 理由なく近づいてくる
- ・ 後をついてくる
- ・ 同じ場所で待っている など



*少しでも「あの人がちょっと変だな」と感じたら、その場を離れ、大人のいる安全な場所に避難しましょう

○● 薄着の季節にご用心！ ●○



暑さが増し、夏の気配を感じる季節。いつも以上に服装がラフになっているお子さんも多いのではないのでしょうか。しかしながら、そうした“無防備さ”を理由に、子どもを狙う犯罪者がいるのも事実です。

「まだ小さいから」「ウチは男の子だから」と思わずに、子どもが遊びに行くときは、服装に目を配って送り出すようにしてください。女の子なら、過度に可愛い服装や露出を避ける、スカートの下にはスパッツなどをはく、肌着を着るなどです。男の子も同様に考えてください。

★ 見せても、見せられても、触られてもダメ ★

「水着を着て隠れる場所は、他人に見せても、見せられても、触られてもダメ」というなど、子どもがイメージしやすい言葉できちんと教えておかないと、万が一、「わいせつ」にあたるできごとに遭遇しても、そうと気づかない可能性もありますし、被害が拡大してしまう恐れもあります。子どもにもわかりやすい言葉で伝えておくことも大切です。